

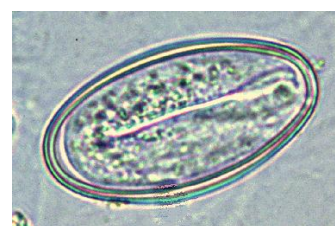
ぎょう虫卵検査の実施について

「いまだき、寄生虫なんか…」と思いますが、ぎょう虫卵は平成10年頃より集団感染の意識低下により保育園・幼稚園・小学校で多くみられるようになりました。多くの保育園等では、年一回、夏のプールが始まる前だけ実施しているようですが、昼寝用布団でも感染は広がりますので、当園では布団乾燥消毒を毎月、ぎょう虫卵の検査を年2回実施しています。ぎょう虫卵の検査は、検便ではなく、セロハンテープによる「肛門周囲2回検査法」で行います。特殊な粘着性のテープを肛門のヒダをのぼした状態で強く押しつけて、そのテープについた卵を顕微鏡で調べる方法です。朝、目が覚めたときに、そのまま寝床の中でテープを肛門にあて、上から5、6回押さえ込むようにします。しっかり押さえるのがコツです。

開封部を左右に引っ張ってセロハンの部分が表に出るようにします。セロハン部分を開きます。



お子さんをヒザをつけて動かないようにし、のりの付いた面を肛門に押しつけます。



ぎょう虫卵

【画像出典:国立感染症研究所】

2月22日(水)と2月23日(木)の朝一番、

排便前にお尻に当ててください。

そして・・・

2月23日(木)にご提出ください。

【ぎょう虫卵があるときの症状】

- 肛門のまわりのかゆみ
- 夜泣、寝つきが悪い
- 神経質(イライラ、落ち着きがない)
- 注意力散漫
- 食欲不振、腹痛、便秘、下痢

このような症状が出ることがあります。ぎょう虫駆除の薬を家族全員で飲めばなおります。

【予防法】

- ツメは短く切りましょう。
- 食事の前や、外から帰ってきた時は、石鹸でよく手を洗いましょう。
- 掃除機をまめにかけましょう。
- 布団はよく日光に当て、十分湿気をとりましょう。
- 毎日入浴し、下着も毎日取り替え、清潔にしましょう。